



— 新年の阿蘇神社神前 —

阿蘇神社 <http://asojinja.jp>

社報 あそみや

平成31年1月1日

第 73 号

発行所
阿蘇神社社務所
多良見町化屋862
☎ 0957-43-5235

慶 春

阿蘇神社
宮司 大 島 大 明

平成三十一年の初春を寿ぎ、氏子崇敬者皆々様のご多様ご繁栄を祈念申し上げますと共に、本年も変わらぬご支援とご高配を賜りますようお願いいたします。

爆心地の碑に白菊と供えたり
忘れざらめや往にし彼の日を

今上陛下御製

平成二十六年十月、国体に御臨場のため長崎県に行幸啓され、平和公園でご供花せられました。原

爆の惨禍を忘れてはならないとのお気持ちが詠まれています。

今上陛下には四月三十日に御退位せられ、翌五月一日に皇太子殿下が即位され、第百二十六代天皇となり新たな御代が始まります。

因みに今年は己亥、十二支では十二番目、方位では北北西、時刻では午後九時から午後十一時、動物では猪（イノシシ）を当てます。つちのと 猪にあやかり力強く飛躍する年にしたいものです。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。ここにこの綱領をかかげて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、
明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと
一、世のため人のために奉仕し、
神のみこともちとして世をつくり固め成すこと
一、大御心をいただきてむづび和らぎ、
国の降昌と世界の共存共栄とを祈ること

平成三ホー寒節分祭 豆撒き奉仕者募集!!

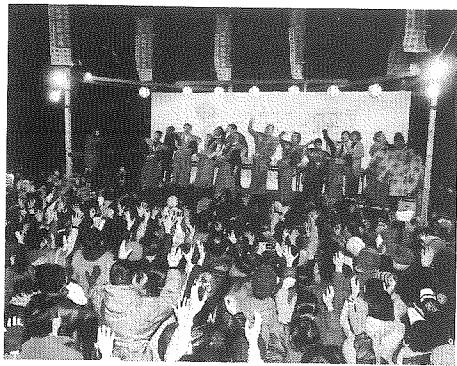
阿蘇神社恒例の節分祭が二月三日(日曜日)に行われます。

諫早市を代表する迎春行事の一
つとされる阿蘇神社の節分祭には、

毎年町内外より多くの方が、一年間の福を求めて参拝されます。

十二年に一度のチャンスです。
亥(いのしし)歳生まれの皆さん、

豆撒き行事に是非ご参加下さい。
今年は平成最後の年、記憶に残る豆撒きになると思います。



一 特設舞台から豆撒き

◎募集要項◎

一、日時
二月三日(日曜日)

豆撒きの時間
一回目 午後六時四十分
二回目 午後七時四十分
三回目 午後八時四十分

※袴への着替えのため、いずれも
四十分前には神社に集合して
ただきます。

二、募集人員

各回 合計二十一名

男女は不問ですが、子供は
七名中二名までです。

三、参加料

大人 八千円・子供 五千円

記念写真・記念品を贈呈

四、申込方法

住所・氏名・生年月日・電話番号と希望する豆撒きの時間を紙に書いて、参加料を添えて社務所へお届け下さい。(申込用紙は神社にあります)

緒の数の都合で定員になり次第締め切りますので、お早めに申込をお願いいたします。

電話での予約も受けています。

電話 四三一五三三五
ファックス 四三一一一八三

今年の年男・年女(亥歳)	
平成十九年生	平成七年生
昭和五十八年生	昭和四十六年生
昭和三十四年生	昭和二十二年生
昭和十年生	



一 火焼神事

◎節分とは

春夏秋冬の四季に恵まれた日本では、四季を更に細かく区分して二十四の節氣としています。節分は季節の移り変わる節(立春、立夏、立秋、立冬)の前日のことで、年四回の季節の変わり目には、古来より様々な行事が行われていたようです。

現在では節分というと、立春の前日を指します。豆撒きをして邪氣を祓い、清々しい気持ちで春を迎えるものです。

- ③ビニール袋ではなく、新聞紙または紙袋でお持ち下さい。
- ②神棚・神殿は一つにまとめ、陶器・ガラス製の付属品は分けてお持ち下さい。
- ①火焼神事へのお願い

火焼神事は、午後九時で終了します。当日は遅れないようにお持ち下さい。

現在では節分というと、立春の前日を指します。豆撒きをして邪氣を祓い、清々しい気持ちで春を迎えるものです。

新嘗祭終了

十一月二十三日に恒例の新嘗祭が斎行されました。阿蘇神社では、田植え後の田祈禱祭を五穀豊穰の祈念(願掛け)の祭。秋の新嘗祭は願成就の感謝の祭として行われています。

御神前には初穂を始めとする神饌、左右の柱には懸税(かけぢから)の稻穂の束が掲げられました。祭典では、宮司が五穀豊穰の感謝と諸産業への更なる御加護を祈念する祝詞を奏上しました。

祭典終了後は、社務所に移動し直会を開催しました。直会では北島総代会長の挨拶に続き、来賓を代表してJA長崎西彼理事・谷口謙太郎氏、諫早商工会副会長北島守幸氏が交々祝辞をのべられました。次いで評議員松山監事の乾杯の発声で開宴となりました。御札を申し上げます。

- ◎祝祭日には国旗を掲げてお祝いいたしましょう
- ◎お正月には新しい御神札を受けて家庭に祀りましょう

☆新嘗祭への奉納☆【敬称略】

◇懸税・初穂・神饌米 松山弥八
◇献穀米 長崎県神社庁西彼支部
長崎県神道青年会

◇ミカン JA長崎西彼喜々津支
店長・高内明博、坂井義則

◇献酒 親和銀行多良見支店長・
中山 和、たちばな信用金庫多良

見支店長・吉田仁志、十八銀行多
良見町支店長・本村 明

◇初穂料 慈恵病院・松本卓郎、
JA長崎西彼理事・谷口謙太郎、
(有)森商会・森 誠司、JA長崎
西彼喜々津支店長・高内明博、松
尾忠憲、石丸 聰、北島守幸、木
下政儀、川崎 剛、高柳秋雄、峰
村駒一、原口博道、大塚 勇、中路
輝次、村瀬健一郎、池田芳信、木
村典秋、前山茂大、中路 徹、木
本 熨、福田泰昭、小川 晃、内岩
黒木康吉、坂井義則、黒木康吉、
内岩 松西内

①注連縄つくり

十二月一日に恒例の「しめ縄つく
り」を行いました。しめ縄と拝殿前
の門松は、従来業者に委託してお

りましたが、経費の節減のため、
平成十二年度の評議員会で手作り
することを決め、以来総代会の事
業として継続されています。

当日は神社総代、評議員、元總
代他有志の方々が参加して作業を
行いました。
参加者も多く三時間で大注連縄
五本を作り上げました。注連縄は
二十三日に鳥居他に取り付けられ

◇総代会便り◇

ることになっています。

また、門松は二十九日に仕上げ
作業を行い、拝殿前に設置されま
す。初詣の折りには、手作りの注
連縄と門松を是非ご覧下さい。

②初詣の御神酒授与

神社総代は大晦日に集合。初詣
参拝者へ御神酒を授与します。午
前零時に樽酒の鏡割りを行い、引
き続き参拝者へ御神酒を振る舞い

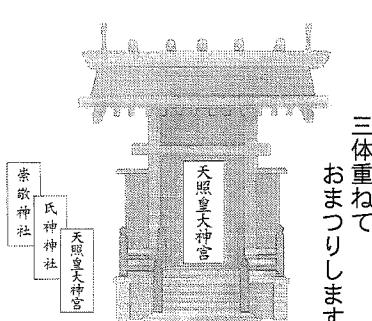
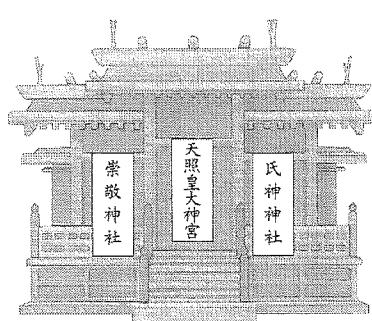
ます。今年は御代替わりの年とな
ります。平成の御代への感謝と、
新たな御代の始まりを祝して御神
酒をお受け下さい。

三社造りの場合

一社造りの場合

三体重ねて
おまつりします

御神札のまつり方



初詣は阿蘇神社へ!!

一年の計は元旦にあり

ご家族お揃いで阿蘇神社へご参拝下さい

平成31年 算賀表

(年齢は数え年)

厄入 男 41歳 昭和54年生
女 33歳 昭和62年生
厄払 男 42歳 昭和53年生
女 34歳 昭和61年生

その他の大厄の年

男 25歳 平成7年生
女 19歳 平成13年生

◎ その他、男女とも22歳、
28歳、37歳、49歳、52歳、
58歳が厄年とされています。

還暦 61歳 昭和34年生
古稀 70歳 昭和25年生
喜寿 77歳 昭和18年生
傘寿 80歳 昭和15年生
米寿 88歳 昭和7年生

◎ その他、90歳を卒(卒)寿、
99歳を白寿、100歳を上寿
といいます。

参賀は人生の節目です。
神様に報告をいたしましょう。

お知らせ

◎ 元旦午前零時より三日まで、参
拝者には御神酒(樽酒)を振る舞
います。
◎ 新年の御祈願は元旦午前零時よ
り受け付けます。
会社・団体の新年の祈願祭も隨
時受け付けています。
開運招福・家内安全
社運隆昌・商売繁昌
厄入・厄払・試験合格
交通安全祈願他

◎ 神社の駐車場は台数に限りがあ
ります。ご参拝の皆様方にはご
不便をお掛けいたしますが、ご
容赦のほどお願いいたします。
◎ 紀元祭にはどなたでも参列でき
ます。尺八の伴奏で「紀元節」
の歌を合唱します。一緒に歌つ
てみませんか。
ご家族ご近所お誘い合わせ、ご
参列下さい。

◇年末年始の神社行事予定◇

十二月三十一日午後四時
大祓式

一月一日午前零時
午後十一時
三日午前八時
三日午後五時
引き続き
豆撒行
火焼神事
除夜祭

二月十一日午前九時
都山流尺八愛好会による尺
八の奉納演奏があります。
引き続き
豆撒行
火焼神事
歲旦祭

三月三日午前九時
紀元祭
節分祭

火焼神事
豆撒行
火焼神事
歲旦祭

火焼神事
豆撒行
火燒神事
歲旦祭

監	阿蘇神社
副	宮司
会	総代会長
代	岩本勝幸
	大島大明
	北島泰昭
	福田克義
	井口義則
	小川晃
	坂井泰
	内田昭
	黒木勝
	原口大
	松山

◆編集後記◆

米国トランプ大統領の就任二年目、中国との貿易戦争は加熱するばかり。保護主義を掲げて我が道を行く米国に日本はどう対応していくのだろうか▼スポーツ界では十代の若い選手の活躍がめざましい年で、二年後の東京五輪での活躍が期待でき楽しみになつた▼大相撲では、九州場所では横綱不在、大関・関脇を押しのけて、貴景勝が初優勝したものの、同部屋力士の暴力事件が発覚。嘆かわしい限りだ▼日ごとに寒さも厳しくなつて参ります。ご自愛第一にお過

謹賀新年

